

令和2年度 万博記念公園マネジメント・パートナーズ 事業実施計画書（抜粋）

◆今年度の取組方針（※当初）

- ・50周年を記念したイベントを大阪府と協力し実施していく。
- ・日の入りが遅い4月・5月や紅葉が見頃の11月の土日の延長営業（19時頃まで）、年末年始の臨時開園により来園機会の拡大を検討する。
- ・未改修の施設の改修、イベント等を実施し。来園者数300万人を目指す。

万博記念公園の将来の姿“Wonder Experience（来るたびに、感動体験と出会える公園）”に向けた取り組みを実施し、その先に見えるお客様の感動体験を準備し堅実に、円滑に、実施・実現することに注力。

昨年度に引き続き、“安心”や“寛ぎ”と楽しさを提供し、とりわけ万博開催50周年を盛り上げ、飛躍的な来園者増を目指す。

これまでの実績と経験及び指定管理者制度の目的である民間のノウハウを活かして、より効率的・効果的に業務を遂行し、経営の健全化を図る。また、来園促進やサービス向上の観点から、入園料等の料金改定に向けて大阪府と協議を進める。

万博記念公園のメインゲートである「中央ロゲート」、シンボルである「太陽の塔」、投資により魅力化した「バラ園・藤棚」、そして今年度には「日本庭園エリア」に投資を行い、魅力化を図ることで、万博記念公園の南北を一直線に貫くルート（ゴールデンルート）を確立する。

また、自然文化園西エリアに新設・リニューアルした施設を個々に楽しむだけでなく、それぞれを連携させることにより、エリアの新しい楽しみ方を創出し、集客性が高く継続性のある事業に定着させる。

特に下記①～④の方針に則り、様々な施設・アクティビティ・イベントを魅力化し来園者満足度・サービスを向上。

- 1.自然文化園と日本庭園の一体化によるゴールデンルートの実現
- 2.日本庭園エリアへの投資による観光拠点形成
- 3.西エリアの拡充による集客向上並びに継続事業形成
- 4.Web媒体を最大限活用した広報戦略

※尚、2020年度においては、新型コロナウイルスの影響により投資計画・本事業計画に記載する取組事業に大きな影響を及ぼすことが予想される。今年度実施不可能となった投資・事業においては、大阪府と協議し次年度への繰越や事業の中止等の決定を適宜行う。

※以下については、実施が困難なものは協議の上、中止・縮小する場合あり。

◆令和2年度の主な取組み

○日本庭園エリアの活性化とゴールデンルートの確立

- ・日本庭園前チェックゲート廃止により、自然文化園と日本庭園の一体化
- ・日本庭園前正門の撤廃
- ・日本庭園の施設魅力化【中止】

○自然文化園の森（自然観察学習館・森の足湯含む）の活性化

- ・「万博 Beast(アスレチックジム)」「自然観察学習館（愛称：moricara)」「Outdoor living」の魅力と機能

を最大限活用した老若男女が公園へ何度も再来訪したくなる環境づくり。

- ・森の足湯（森の足湯カフェ等）【中止】
- ・「コミュニティガーデナー」及び「グリーンレンジャー」の養成講座【グリーンレンジャー⇒中止】

○EXPO'70パビリオンの活用

- ・「ペーパークラフト 1970年万博会場模型」の完成により、新たな常設展のメニューとして展示。
- ・EXPO'70パビリオンオリジナルグッズ販売
- ・太陽の塔・大阪万博テーマ館にちなんだ企画展【中止】

○太陽の塔の活用

- ・フォトスポットサービスの提供
- ・旅行会社等・教育旅行の営業促進
- ・太陽の塔内部公開の夜間延長【中止】

◆広報戦略（※調整中）

○マーケティングの実施

- ・市場の分析及びポジショニングの確認
- ・公園のブランドを高め、消費者に選択される理由をつくる（消費者ニーズの分析とターゲット選定）
- ・広報・イベントプロジェクトチームの加速 ⇒ 人材、資金の確保と運用

○広報・宣伝広告

- ・より効果的な年間の広告費の配分方を検証
- ・SNSの充実を図る（配信内容の検討とパークガイドの活用）
- ・エリアプロモーションのための更なる連携と独自での配信
- ・体験プログラム充実とターゲットを定めたプロモーション
- ・パブリシティを呼び込み広報・宣伝を推進する（日本庭園・太陽の塔などの魅力化を発信等）
- ・周辺自治体及び、事業体との連携
- ・コンテンツと連動した広告を実施することで、集客力をUP

○万博記念公園だよりの発行スタイル変更によるより効率的な広報展開の実施

○教育旅行団体を中心とした体験プログラムコンテンツの商品造成

○WEB・SNSでのデジタルプロモーションの実施

- 近隣大学等との連携による情報発信等
- 訪日外国人向け情報誌を活用した情報発信等
- 各電鉄会社の駅掲示板等を活用した広報展開
- メディア及び関係機関への情報発信調整

◆運動施設

○記念競技場内トレーニング場

ダンススクールやスポーツクリニックでの活用など利用促進を図る

○スポーツ教室の企画

- ・元プロサッカー選手によるJリーグを本気で目指すスクール

○エンターテイメント×スポーツイベントの企画・検討

○スクール・イベント運営

- ・テニススクール、フットサルスクール

◆利便性及びサービス向上

○森のトレイン

○パークタクシー

⇒小型の電動モビリティを時期に応じて最大3台運行し来園者のスムーズで快適な移動をサポートする。園内に14カ所の停留所を設け、来園者からの携帯電話での呼び出しに応じて配車と送迎を行うほか、各ゲート前では「流し」での営業も実施。

◆イベント

・ローズフェスタ（秋）、紅葉まつり、梅まつり、つばき祭、その他持ち込みイベントなど

【以下中止】

桜まつり、チューリップフェスタ、ポピーフェア、ローズフェスタ（春）、蛍の夕べ、あじさい祭、早朝観蓮会&象鼻杯、ひまわりフェスタ、Wonder Experience イルミナイト万博（夏・冬）

◆花と緑

○新たな花の見どころづくり

- ・ネモフィラ
- ・赤そばの花
- ・寒咲菜の花
- ・アイスチューリップ

○太陽の塔広場 公園エントランスの景観価値向上（オーバーシード）

○季節に合った入口景観・撮影スポットの設置

○NPO やボランティアとの連携

- ・花やみどりの活動に関わる専門的人材「コミュニティガーデナー養成講座」の開講

○バラ園花壇

⇒リニューアルしたバラ園を新しく生まれ変わった花の名所として多くの来園者に見に来ていただくための取り組み

- ・見頃の時期に一斉に咲くバラ園を演出
- ・ローズフェスタを行い、臨時売店でのバラ、草花の販売やガイドなどによりバラ園を楽しんでいただける取り組み

- ・宿根草を植えつけ、花のない時期を減らす

- ・バラ園西側（原種エリア）にクリスマスローズ（約300株）の見本庭園を作成

○チューリップの花園について

- ・チューリップの寄せ植え、園内の剪定枝を利用したアーチを作り、フォトスポットを設営
- ・通常より大きな花が咲く品種「ジャイアントオレンジサンライズ」を導入
- ・より近くでゆっくりとチューリップの花を楽しんでいただけるよう、ベンチスペース等を設置

○花の丘

- ・フォトスポット設置
- ・花期には、臨時売店での花の販売など来園者の方が楽しめる催し実施

◆投資計画

単位：千円

(単位:円、税込)

年 度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	5か年合計	
		実績	実績	見込	見込	見込	見込	(2018～ 23年度)	
提案 内 訳	①太陽の塔周辺オー バーシード	当初計画	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	30,000
		変更	3,823	5,000	0	5,000	5,000	5,000	23,823
	②「平和のバラ園」リ ニューアル	当初計画		60,000					60,000
		変更		60,000					60,000
	③藤棚の新設と演出	当初計画	15,000	15,000					30,000
		変更		30,000					30,000
	④プレイスメイキング による空間創出	当初計画		5,000					5,000
		変更		5,000					5,000
	⑤夜間営業の活性化	当初計画	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000		75,000
		変更		12,000	0	12,000	12,000	12,000	48,000
	⑥売店の魅力化	当初計画		25,000	25,000				50,000
		変更		119,273	0				119,273
	⑦公式サイトのリ ニューアル	当初計画		10,000	10,000				20,000
		変更		10,000	0	10,000			20,000
	⑧新決済システムの 導入	当初計画	10,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	15,000
変更			31,212	0				31,212	
⑨公園IoT化	当初計画		23,000	3,000	3,000	3,000	3,000	35,000	
	変更		7,836	0	30,000			37,836	
⑩展示物補助説明IoT 化	当初計画	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	10,000	
	変更		0	0				0	
⑪中央口・ゲートのリ ニューアル	当初計画		0	30,000				30,000	
	変更		0	0	30,000			30,000	
⑫案内サイン改修・新 設	当初計画	5,000	15,000	15,000	20,000			55,000	
	変更	5,000	48,900	0	1,100			55,000	
⑬トイレ改修と休憩ス ペース化	当初計画		15,000	15,000	20,000			50,000	
	変更		47,064	0	3,000			50,064	
⑭テニスコートのハー ドコートへの改修	当初計画		0	0	30,000			30,000	
	変更		0	0				0	
⑮テニス施設のバリア フリー改修	当初計画		0	0	5,000			5,000	
	変更		0	0				0	
投資額計(A)	当初計画	55,000	190,000	120,000	100,000	25,000	10,000	500,000	
	変更・追加	8,823	376,285	0	91,100	17,000	17,000	510,208	

今年度はコロナの影響を鑑み、投資額を0とした。今年度に予定されていた投資は次年度以降へ繰越予定。